

本庄南ロータリークラブ



会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明

第698回例会

9月16日(火)

発行 平成20年9月30日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
 ソング / それでこそロータリー
 ゲスト / バイオリン演奏家
 福島 正子 様

会長挨拶

矢部一臣 会長



ロータリーの組織機構

皆様、今晚は、『願えば叶う』という、人間の潜在意識の顕在化に注目した成功哲学に関する書籍は、氾濫しています。そんな中で、『願わなければ叶う(有野真麻)』という逆転の成功法則の本が発行されていたので、興味深く思い、購入してみました。また、『「やらないこと」から決めなさい(小山昇)』では、逆転の経営哲学による組織の舵取りを説いています。

今、「早寝、早起き、朝ご飯」を教育現場である小学校でも推奨して、子供達にそんなライフスタイルを指導しています。医学博士渡辺正先生は、『朝食抜き!ときどき断食!』という、免疫力、自然治癒力健康法に関する本を出されていますが、その中で、起き抜けの体は、「排泄モード」、午前中は、体の掃除に努めている。朝、体は、交感神経を働かせ活動モードに入ろうとしている。朝食をとると、内臓に吸収活動をさせ、体のリズムを休養モードにする。それは、生体リズムの観点からは、自律神経を乱すことである書かれています。私は、朝食抜きを勧めるものではありませんが、今日までの長い人類を考えると人間の体は、飽食状態よりも飢餓状態に対応できる仕組みにできているということは事実です。発展途上国の飢餓問題とは裏腹に昨今の先進国に於ける生活習慣病は、飽食、運動不足、ストレスによるものです。

成功法則、経営哲学、健康法等は、西高東低、即ち、西洋的な発想、現代西洋医学等が主流となっています。しかしながら、同じ一つの問題、事柄は、見る方向、捉え方等で多様であり、それに対する

発想、手法も現代西洋的なものばかりでなく無数あります。アンテナを広げて情報を収集したいものです。その中で、流行に拘らず、直感的に正しい選択をできる能力が生命力のようです。

さて、本日のロータリー情報は、皆様もご承知ですが、**ロータリーの組織機構**です。

ロータリーは、本質的に草の根的な組織であり、その奉仕活動のほとんどがクラブ・レベルにおいて実施されています。地区および国際的な組織機構は、クラブを支援し、それぞれの地域社会をはじめ海外においてクラブがさらに奉仕を提供する援助にあたります。

クラブ

ロータリアンは、ロータリー・クラブの会員であり、**クラブ**は**国際ロータリー**の世界的連合体に加盟しています。各クラブは、それぞれ独自に役員を選び、ロータリーの定款・細則の枠内においてかなりの自治権を行使することができます。

地区

クラブは、530の**R I 地区**に分けられ、**R I 役員**である**地区ガバナー**が各地区を統轄します。そしてガバナー補佐や各種委員会を含む地区管理機構がクラブを指導、支援します。

R I 理事会

19名のメンバーからなる**理事会**は、**R I 会長**と**会長エレクト**を含み、方針を設定するために四半期ごとに会合を開きます。毎年選ばれる**国際ロータリー会長**は、その**年度のテーマ**および**強調事項**を提示するのが伝統となっています。

事務局

国際ロータリーは、米国伊利ノイ州シカゴ郊外の**エバンストン**に本部を置き、**アルゼンチン**、**オーストラリア**、**ブラジル**、**インド**、**日本**、**韓国**、**スイス**に7つの事務局があります。

(参照 『ロータリー情報マニュアル』)

幹事報告

星野栄一 幹事



1. 早稲田大学大学院国際情報通信研究科新入生歓迎及び交流パーティーに会長、監事で参加して参ります。
2. 福島会員のお子さんの福島正子さんのバイオリンコンサートが市役所ロビーにおいて開かれます。多

数の皆様の御来場をお待ちしております。

10月3日(金)午後5時30分より

3. 子育ておしゃべりサロン(先生の話をお聞き)

10月18日(土)午後1時30分～4時まで

市民文化会館2F

講師は仁手小学校教務主任佐藤準一先生、東中学校教頭松島猛先生

委員会報告



福島 好正 社会奉仕委員会 委員

子育ておしゃべりサロンのご案内

日時 20年10月18日(土)

午後1時30分から4時頃まで

場所 本庄市民文化会館 2F 多目的室

意見発表者 小学校と中学校のお二人の先生のお話があります。意見交換もできます。興味のある方は、ぜひご参加を！お知り合いの方にも伝えて下さい。

ゲスト挨拶



福島 正子 様 バイオリン演奏家

10月3日(金)午後5時30分から、本庄市役所ロビーにおいてコンサートを行います。アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク、愛の挨拶、愛の喜び、チャールダーシュ、コンソレーション他、珠玉の名曲を多数演奏します。演奏者は、バイオリン福島正子、ピアノ早川未珠です。

皆さん、お気軽にお越し下さい。

会員スピーチ



本庄南RC 国際奉仕委員会 常任委員長 戸谷 全克

第1回奉仕プロジェクト部門B部会
セミナー報告

9月の「新世代のための月間」を迎えるに先立ち、8月30日に地区では「川越氷川会館」において上記のセミナーを開催した。

当クラブからは矢部会長と戸矢が出席した。

以下その時の模様を報告する。

まず初めに基調講演として、茅ヶ崎湘南RC所属で第278地区松宮 剛PGが「新世代への奉仕について」と題する基調講演を約1時間にわたって行った。私も久しぶりに新世代関連の地区会に出席させ

て頂いたが、結構空席つまり出席しないクラブがあったようである。その点を踏まえて講師の松宮PGは、次世代を担う青少年を育成するのは地区ではなく個々のクラブが取り組まなければならない問題であるという認識をしっかりと持って頂きたい。国際ロータリーの会員は地区ではなく認証状を戴いた各クラブであるから、RIが決めた事を実行するのも地区ではなくクラブであると云う事を理解して戴かなければならない。従って対応委員会がないからと云って欠席すると云うのは間違っている。関連委員が出席しなければならないと云う事を理解して欲しいと話された。

コーヒータイムの後、午後3時より午後4時半まで青少年交流委員会、日豪青年交換委員会、アクト委員会、ライラ委員会の4委員会の委員長さんがそれぞれ担当分野の説明と事業への協力を要請された。

まず初めに青少年交換委員会の中川委員長より第3期交換学生募集要項が配布され、それには留学先、留学期間、内容、募集人数、費用などが記載されている。

配布書には記載されてなかったが、委員長急死というアクシデントがあり、切迫した時間内での委員長名の変更に苦労したそうである。また今年は米国から2名、メキシコから1名地区に見えるが、ホストファミリーを探すのに困っているそうである。

次は日豪青年交換委員会の本庄RC所属の茂木委員長より説明があり、今回は1月10日にオーストラリアより見え、日本からは3月にオーストラリアに行くそうである。オリエンテーションは5回あるが、ロータリアンの子弟も行けるからぜひ参加して欲しいと云う。

「なぜオーストラリアなんですか」と云う質問に対して分割前は「日比」にも行っていたが、「日比」は277地区が担当していると云う。また「なぜ毎年行わなければならないのですか」と云う質問に対して、石川PGも1年おきを検討したが国際問題もあるので本年度も実行されることになったと云う。

次にアクト委員会の中嶋委員長よりインターアクト委員会とローターアクト委員会についての報告があった。

まずインターアクト委員会ですが、一応クラブ数は12あるものの、星野高校と和光国際高校を除く学校は部員も少なく、5名以下の高校もあり、廃部の危機に面していると云う。

因みに、今から2年前、私が本庄RCの幹事を無事終了した年、お仕えした岡会長が本庄東高校の理事長兼校長の小林徳一郎先生と本中が同窓と云う間柄であった関係で、インターアクトクラブ設立に挑戦なさり、私もお手伝いして1985年2月3日に目出度く設立に漕ぎ着けた事を思い出しました。中嶋委員長の報告によりますと、募集をしても集まらない。ボランティアに興味がないかと云うとそうではなく、活発に活動はしているが、インターアクトに入部してまでやらない。個人プレーが多くなり、協力していこうという生徒が少なくなった。ロータリークラブと共同で行う事があまりない。などの理由でインターアクトクラブが減少しているのだそうである。

今後の取り組みとしては

以前提唱したが消滅した高校へ再度復活をお願いする。

「高校生体験活動」をされた高校...本庄では、本庄北高校に働きかける。

2月の次期指導者講習会への担当者の参加。

4月26日の顧問教師会への次年度地区アクト委員の参加。

を実行したいそうである。

次にローターアクトクラブについては次のような説明を受けた。

川越RACは日本初のクラブであるが、地区に3クラブは少ない。

むさしまつやまRAC、淑徳大学RACの会員数が少なく、会員増強に苦慮している。

当地区は大学を中心のRACで、社会人を含むRACがない。

むさしまつやまRACは短大の為、会員在籍が約1年半と活動期間が短い。

3クラブのため、年次大会などのホストが3年ごとに来ってしまう。会員の少ないクラブではホストを務めるのが困難である。

今後の対応策

- 1.ローターアクトとロータリーの交流を図りたい。RCの行事に参加させて頂きたい。
- 2.大学卒業後もそのまま残って頂く。
- 3.各グループでローターアクトの設立を考えて見て頂きたい。

この後の事業予定

- 1.9月14日 ウィンズ交流会
- 2.12月7日 RAC年次大会
- 3.2月 RAC全国研修会 長崎県
- 4.5月16.17日 第20回関東ブロック研修会

地区アクト委員会予算

- 1.総額88万
会員一人440円×2000会員
- 2.インターアクト助成金
12校×3万円 36万円
7月21日 インターアクト年次大会のときガバナーより手渡した
また補助金として委員会予算より15万円支出
- 3.ローターアクト助成金
12月7日 ローターアクト年次大会のときガバナーより手渡す予定
- 4.残金1万余りはローターアクト年次大会など補助金として使う予定

最後に井桁ライラ委員長より本年度の事業計画等について報告がありました。

日時 '09年2月14日(土)10時点鐘

会場 東松山 紫雲閣2階大ホール

募集人員 100名(青少年) 参加費用 無料

テーマ 【美しい心を持ち深く生きる】

講師 川嶋伸次 東洋大陸上部監督

マジック体験ショー 犬竹日高RC会員

ワークショップ講師 稲葉博子 GSE派遣団員

ワークショップ 命・夢等で討議

以上

出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	9名	5名	8名	63.6%

例会予定

- 9月30日 移動例会 ディスカッション
(担当 会員増強) 於; Lala
- 10月7日 会員スピーチ(会員組織)
- 10月14日 家族例会(クラブ運営) 於; みさご寿司
- 10月21日 卓話 (米山)
講師 国際RI第2570地区
米山奨学部門 部門委員長
西澤孝夫 様(越生毛呂RC)

委員会風景

